

三次地区医師会開業医の先生をご紹介します。

No.32

箕岡内科医院

特徴

平成16年に先代より継承して三次町で診療を行っています。
患者様に寄り添った丁寧でわかりやすい、地域に密着した診療を目指していきたく思っていますので、いつでもご相談ください。

医療センターへひと言

いつも検査、入院などお忙しい中迅速に対応していただき、ありがとうございます。
日々の診療の支えになっています。今後とも、よろしく願いいたします。



先生とスタッフの皆さん

取材後記

雨が降りとても寒い日でしたが院内は入り口をはじめ待合室も明るくとてもきれいで心地よい空間でした。箕岡先生、スタッフの皆様と一緒に撮影場所を探していただいたりなど快く撮影にご協力していただきました。お忙しい中ありがとうございました。



診療受付時間

月・火・水・金/ 9:00~12:30
14:00~18:00
木・土/ 9:00~12:30

休診日

木・土午後、日・祝日

診療科目

内科、消化器科
循環器科、呼吸器科



広島県三次市三次町1900-1
Tel:0824-62-3183



理念

全人的医療を目指します。
地域密着型の医師会立病院としてかかりつけ医と連携し、患者様に満足の頂ける医療・ケアを行います。

新年 あけまして
おめでとうございます



新年の挨拶

令和5年1月 年頭にあたって謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2020年に新型コロナが蔓延して3年が経過し、政府は専門家の意見も踏まえ、今年の5月には感染症法上の位置付けを2類から5類感染症への変更を決定しました。医療・介護の現場には戸惑いも多いものの、当センターでは引き続きしっかりと感染防止対策を継続し、通常診療を通じて地域医療に貢献できるよう頑張っていく所存です。

さて、高齢化率36.4%（令和4年12月31日現在）の三次市においては、脳血管疾患や循環器疾患、とりわけ心不全対策が重要だと思われます。いずれも予防が大切ですが、罹患してしまった場合には早期治療とその後のリハビリテーションを行い、生活の質を高める必要があります。当センターは開設当初からリハビリテーションに力を入れており、現在も県北で唯一の回復期リハビリテーション病棟を運営しています。2022年度からは、広島大学大学院の弓削教授のグループが共同開発された歩行補助具のRE-Gait(リゲイト)を導入し、歩行機能の再獲得に利用しています。また使用経験は浅いものの、広島大学と連携を取りながらリゲイトを十分に活用していく予定です。また、心不全急性増悪後のリハビリテーションにも力を注いできましたが、今後も心不全治療の標準治療として取り組んでまいります。

一方、コロナ禍で「フレイル（虚弱）」が問題として取り上げられる機会が増えてきています。一般的には、加齢による心身の衰えと説明されますが、コロナ禍で身体活動量が低下し、社会とのつながりも希薄となってきたことから、フレイルが進行、あるいはフレイルに陥る高齢者の増加が懸念されています。これを予防するために、医療センターでは地域と協力しながら、「くう（食う）でる（出る・社会参加）うごく（動く・運動）」を広めていきたいと考えています。

2023年度も医療センターの強みを活かしながら、職員一同、引き続き地域医療に貢献していきたいと願っていますので、宜しく願い致します。

三次地区医療センター 病院長 安信 祐治

新型コロナウイルス 感染症に関する 面会制限 について

現在「院内ステージ3」、面会を原則全面禁止しております。
※状態悪化・終末期、医師が面会を許可した場合、病院から依頼した場合は人数を制限した上で個別に対応します。
※タブレットでの面会も水・木曜日に実施しています（要予約）。
※荷物の受渡しは、1階ロビーで13時半~17時（月~金）となっております。
※タブレット面会は祝祭日を除く。荷物の受渡しも原則祝祭日以外でお願いしていますが、難しい場合はお知らせ下さい。
ご不便をおかけしますが、患者様への感染防止のためご協力をお願い致します。

三次地区医療センター

〒728-0013

広島県三次市十日市東三丁目16番1号

TEL.0824-62-1103

FAX.0824-62-7341

E-mail:info@miyoshi.hiroshima.med.or.jp

ホームページ:http://www.miyoshi.hiroshima.med.or.jp/



